

✦新潟県魚沼市、四季の郷やくしから発信する会報誌✦

# NPO法人 四季の郷やくし

Vol. **27**  
2025 年9月発行



9月に入っても暑い日が続いていましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、やっと秋めいてきた今日この頃、皆様はお元気でお過ごしでしょうか？

スキー場ゲレンデ恒例の「100人草刈り」も無事終わり、そばの花が真っ盛りです。

## ゲレンデでのそばの 栽培状況について



今年も約1.5ヘクタールの畑に8月1日にそばの種を撒きました。その後順調に発芽し、現在はゲレンデいっぱいにはそばの花が咲いています。今後は受粉⇒結実⇒黒化と進むわけですが、今年も9月上旬の残暑が厳しかったので、受粉状態が少し心配です。ソバの花粉の媒介はハチ、アリ、ハエ、ハナアブ、ハナムグリなどの昆虫が行うので、その結実率は花粉媒介がうまくいくかどうかにかかっています。昆虫の多い植生が周りに豊富だと、花粉を媒介する昆虫の数が多く、結実率も良くなるらしいです。虫さん達の活動に期待です。

去年の収穫量は1100kgでしたが、ゆ〜パーク薬師で通年地粉そばを提供するためには1400kg程度は必要です。少しでも収穫が増えますように、虫さんががんばれ！台風こないで！

# 里山の整備と ゲレンデ草刈り

NPO 法人四季の郷やくしでは環境整備事業として6月と7月に1回ずつ内山林道（薬師スキー場があるのが“内山”です）と慈眼寺山（やまびこ荘がある山）の遊歩道の草刈りを行っています。地元のみなさんを中心にトレッキングに活用してもらうためだけでなく、山の裾野を整備することにより熊などの害獣が出づらくする効果もあると考えています。

今年は6月8日と7月20日に開催し、約70人の方からご協力いただきました。ありがとうございました。

## 魚沼市内スキー場の 一本化について

現在、魚沼市から指定管理を受けて営業している薬師スキー場、小出スキー場、須原スキー場の3スキー場が、将来に渡って持続可能な運営を目指して令和9年以降の一本化を目標に協議を進めています。

大規模なリゾートスキー場と異なり、完全な民営でのスキー場運営は困難ですが、雪国魚沼におけるスキー場の多面的な価値を信じて将来に渡って事業を継続していくために、スケールメリットや相乗効果を上げるために事業計画等を検討しています。

ちなみに、現在検討されている構成事業所は薬師、小出、須原の3スキー場の他に、日帰り入浴施設こまみ、白石荘（須原）、小出公園などがあります。薬師スキー場に隣接しているゆ〜パーク薬師については薬師スキー場を運営しているNPO 法人四季の郷薬師とは別組織である「湯之谷薬師スキー場管理組合」で運営しているため、新会社には参加しないものの、スキー場の存続と経営の安定化のために強い協力関係を維持したいと考えています。

NPO法人 四季の郷やくし  
事務局：ゆ〜パーク薬師

TEL : 025-792-5554

12 次回会報発行  
月予定